

## Conflict & Cooperation in Cellular Populations 2016 参加報告 相関基礎科学系 修士課程2年 藤本悠雅（金子研）

インドのバンガロール、生物学の研究所である National Centre for Biological Sciences で、CCCP 2016 が開催された。これは、総数 100 名ほどで、細胞間における競争と協力の複雑な関係にせまり、少人数ならではの密なディスカッションを行うという趣旨の会議であった。私の研究テーマである階層的な状況でプレイされるゲームは、集団間での競争と集団内での協力とが混在しており、この会議の趣旨に適合していると思い、参加させて頂いた。また、我々の提唱するようなゲームが具体的にどのような Biological な例に当てはまるかということ話し合うことも目的であった。

会場は、意欲的な人々で溢れかえっており、4日間という短い期間であったにも関わらず、私は全部で14人もの人にポスターを話す必要があった。一人一人が滞在してくれた時間も長く、中には1時間以上も興味を持ち続けながら私の拙い説明を根気強く聴いてくれた方もいた。さらに、多くの方が我々の研究の生物学的意義について親身に議論をしてくれた。その会議の参加者だけでなく、NCBS 内部の他分野の方々もいたので、様々な生物学的な分野において意義を見つけることができそうである。（現在連絡をとり続けている人もいる。）

また、学会自体の規模は大きくないものの、E. Peter Greenberg や David Queller などの著名な方々の興味深い公演を基礎から最先端まで長時間聴くことができた。結果として、bacterial な世界で行われているゲームや species 間で行われているゲームについて、その専門家ならではの生き生きとした話を通じて、精密に理解することができた。このような新しい分野への理解を将来的な研究の糧にしていきたい。

最後に、このような濃密な経験を与えてくれた助成に感謝を申し上げたい。

